

～運転者に対して、横断歩道を横断する者に対して注意するよう徹底を！～

4月7日午後6時頃、東京都で、乗合バスが交差点を左折する際、道路左側から横断歩道を渡っている複数の歩行者がいたため一旦停車し、歩行者がいなくなったので発進したところ、左側から横断してきた歩行者に接触、歩行者を轢過した。

この事故で、轢かれた歩行者が死亡した。

当該バス運転者は、「一旦停車したが、歩行者に気付かなかった」と供述している模様。

(4) 乗降扱い中の乗合バスに乗用車が追突した事故

4月7日午後10時20分頃、神奈川県で、乗合バスがバス停にて乗降扱いのため停車していたところ、後方から走行してきた乗用車が追突した。

この事故で、乗用車の助手席に乗っていた男性が足の骨を折る重傷、当該バスの運転者及びバスに乗っていた乗客10名、乗用車の運転者の計12名がむち打ちなどの軽傷を負った。

事故現場は、片側2車線の直線道路で、当時、当該バスには乗客18名が乗車していた。

(5) 女性タクシー運転手が乗客に殴られ、現金などを奪われる事件

4月4日正午頃、大分県で乗車した男が、乗務員に山中などあちらこちらに行くよう指示した後、午後1時半ごろ、山道で当該乗務員に「乗車料金を付けにしろ。」などと強く要求し、断られると髪を引っ張る、左ほおを殴るなどして軽いけがを負わせ、さらに売上金や乗務員の所持金など約1万4千円と乗務員の携帯電話などを奪ったとのこと。その後、男が車外に降りた隙を見て、乗務員は、タクシーで逃げ、コンビニエンスストアに駆け込んだとのこと。

男は、事件の約3時間後に逮捕。「持ち金が少なくなったので強盗を思い付いた。」と供述している。

当該タクシーには、以前、防犯用仕切板を取り付けていたが、乗務員が小柄であり、後方確認に支障がある（光の反射やモールが隠れて見にくい）ため、取り外していたとのこと。

(6) タクシー運転者の持病発症により歩行者を撥ねた事故

～運転者の健康状態の把握の徹底を！～

4月5日12時59分頃、兵庫県で、タクシーが回送運行中、当該タクシー運転者が突然意識を失い、道路脇の飲食店のシャッターに衝突し、付近にあった自転車をなぎ倒し歩いていた歩行者を撥ねたうえ、駐車車両に衝突して停車した。

この事故で、撥ねられた歩行者が死亡した。

現在、事故の原因等詳細について調べが進められているところであるが、当

分離帯を乗り越え対向車線にはみ出し、対向車線を走行してきたタンクローリーと正面衝突した。この事故で、タンクローリーの運転者が足の骨を折るなどの重傷、大型トレーラの運転者も軽傷を負った。事故当時、当該タンクローリーには、軽油18キロリットルと灯油2キロリットルが積載されており、このうちの一部が漏れた。

＝その後の情報＝

その後の情報によれば、事故当時、トレーラ運転者の突然の止まらない咳き込みにより、前方不注視となり、中央分離帯に衝突して対向車線に飛び出したとのこと。



【メールマガジン「事業用自動車安全通信」】

発行 国土交通省自動車交通局安全政策課

* このメルマガについてのご意見は、<jiko-antai@mlit.go.jp>までお寄せください。

よくある質問

(<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/faq.html>)

自動車交通局ホームページ

(<http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html>)

